

葛西第二中学校応援団実践報告書

1 校長及び代表者氏名

江戸川区立葛西第二中学校 校長 仁井田 孝春
代表 金 田 浩一

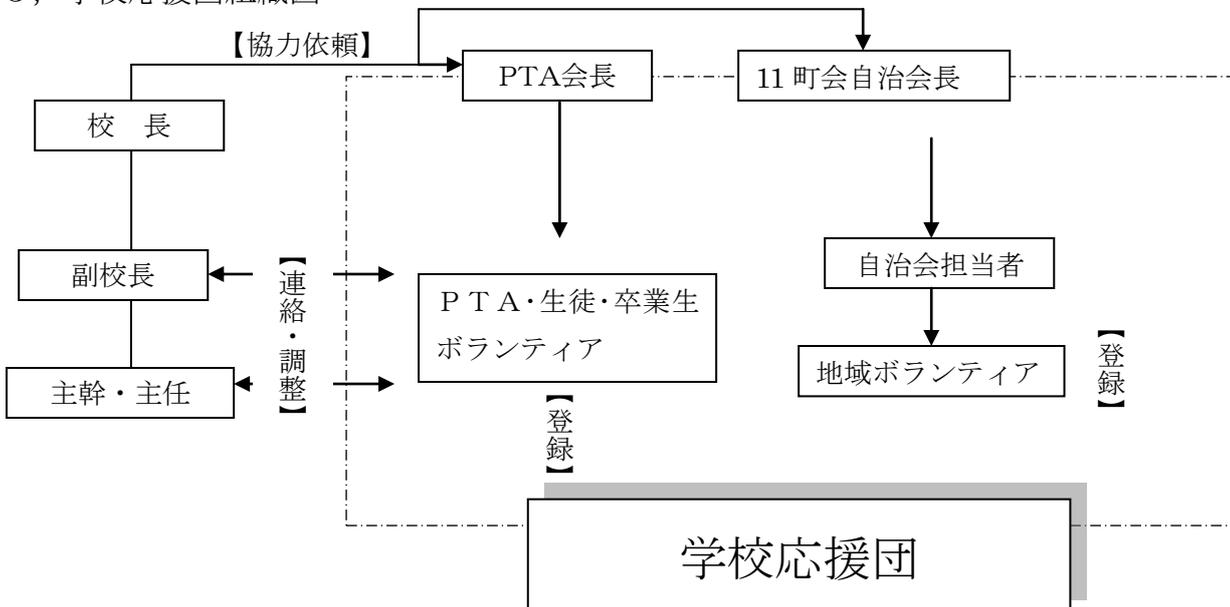
2 今年度の活動内容

基本方針 本校は、「すべての生徒が明るく元気に登校でき、充実した学習活動ができる学校」を基本方針としている。これまでも地域の方々や保護者の皆様から教育活動を支援していただいていた。昨年度から、現在ある組織を活用し「学校応援団」として位置づけ、その活動の充実を図ることに努めている。

主な活動の紹介

体験的学習 ボランティア	食育学習	椎茸栽培体験 田植え地引き網体験 農家の生活体験 実のなる公園収穫祭
	国際理解	留学生との交流会
健全育成 ボランティア	防災訓練	七町会自治会合同防災訓練
	地区懇談会	夏の地区懇談会 年度末地区懇談会
	夏季休業	地域パトロール 盆踊り訪問
ふれあい学習 ボランティア	進路学習	地域の方による面接練習会 卒業生に聞く PTA主催高校訪問バスツアー 職業人に話を聞く会
	食育学習	餅つき大会 全校食育講演会

3, 学校応援団組織図



4 成果と課題

成果

- ・ 応援団の取り組みのひとつである七町会自治会防災訓練は、本年度で12年目を迎えた。生徒も163人の参加がある。葛西二中オフィシャルボランティアの一環としての位置づけとなり、本校の伝統行事になりつつある。動員をかけず、本気でボ



ランティア活動として応募してくる生徒を対象に、毎年行うことで、防災意識が高まる。防災に関する知識技能も確実なものとなる。また、



地域の方々と生徒がふれあうことで顔見知りとなり、日頃からの防犯、健全育成に役に立つ。

- ・ 地域の方による面接練習会は、他校への広がりを見せ、江戸川区全体の取組になっていくとよいと考える。地域と中学生が正式な形で話をすることでお互いの理解が深まった。
- ・ 地域パトロール、盆踊り訪問等は、保護者が地域の一員として、地域活性につとめている姿を見ることになり、学校の教育活動を支援してくださる地域の方として活躍している。そのため、子供が多様な体験活動ができ、地域と密着した子供の豊かな育ちにつながっている。



課題

- ・ もともと活動として学校応援団の活動は盛んであった。区取組として応援団活動を行うようになって、本来の活動そのものよりも、付随した業務（パネルづくり、会議や研修、報告書や便りの作成など）が多くなり、学校の活動の煩雑さを増すことになって、何のための応援団なのかわからなくなる場面もあった。できるだけスリムに活動できる環境づくりが急務。

5 学校長より

応援団の取り組みを通して、本校の教育活動を充実させることができた。現在の教育、特に小中学校は学校・家庭・地域が、共育していくことで、支えられている。その中で子どもたちがすくすく育っていける環境づくりには、応援団の活動を充実させていくことが肝要である。

6 代表より

学校を取り巻く環境は、悪化の一途をたどっているように思います。通信機器の進歩とともに直接人と人が触れ合う機会が減り、人のぬくもりの感じられない世の中になってきています。幸い葛西地区は町会や自治会を中心とした地域の活動が盛んであり、「おらが学校」という意識で学校を支援してくださる。学校応援団として頼もしい存在です。今後とも葛西二中の子供たちを優しく厳しくそして暖かく見守ってください。